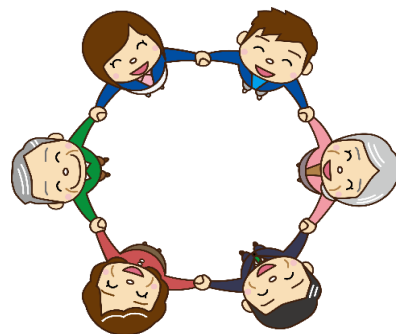


～出前講座報告～

☆川田自主防災組織会☆

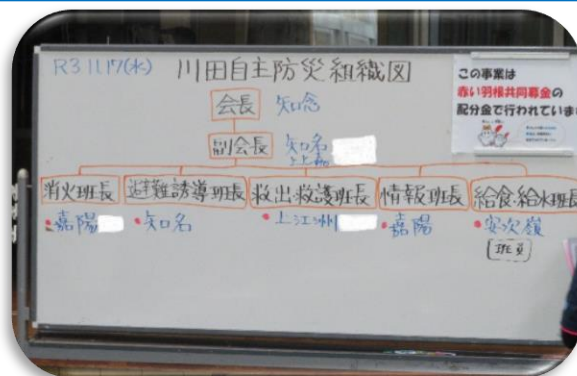
1. 出前講座開催に至った経緯

川田区では、平成 26 年に自主防災組織会を立ち上げていましたが、実際にはほとんど活動がない状態でした。しかし同地域は低地帯で土砂災害警戒区域でもあり、災害時に大きな被害が予測されます。また、高齢者世帯も多く、災害時には地域で助け合えるよう、体制を整える必要がありました。組織のメンバー編成や今後の活動をテーマに出前講座を実施しました。



2. 出前講座の様子

1 回目(11/17)は、「自主防災組織」について学びました。その後、自主防災組織会のメンバー編成を行いました。会長・副会長、各班長(消火班・避難誘導班・救出救護班・情報班・給食給水班)を決めました。また、市役所(福祉総務課)の協力を得て、災害時避難行動要支援者についても学びました。



2 回目(12/8)は、自主防災について意見を出して頂き、今後の活動方法について話し合いました。皆さんで、簡易防災マップを見ながら川田区の、土砂災害警戒区域や避難経路を確認しました。そして、1 月には実際に避難経路を歩いて、危険箇所などの確認をすることが決まりました。年度内は、防災倉庫物品整理・自主防災組織班員の編成をしていき、次年度からは年二回(5 月・10 月)の定例会をもち、避難訓練など自主防災組織会の活動をしていくことが決定しました。また、市役所(福祉総務課)から実践的な避難訓練をしている、地域の事例を説明して頂き、訓練方法についても学ぶことができました。



終えての感想

防災について、考える良い機会になったので、活動を継続していけるように頑張っていきたい。地域の横の繋がりが大切だと感じた。避難経路を実際に、歩いて確認・体験するの必要を感じた。